

広報のあゆみ

- 昭和30年5月 広報やまだ創刊号を発行。タブロイド版4号。
- 56年10月 創刊号から300号までを収録した縮刷版を発行。
- 58年10月 広報が月2回、1日号と15日号発行になる。
- 61年6月 「町民登場」コーナーが始まる。これまで143人が登場。
- 63年8月 「健やか赤ちゃん登場」がスタート。現在の「1歳になりました」を含め、今までに4,741人が登場。
- 平成4年8月 「フレッシュマン・ウーマン登場」がスタート。以前の「頑張るマン・さわやかさん」を含め、今号までに558人が登場。
- 5年12月 301号から551号まで収録の縮刷版を発行。
- 15年4月 「元気なおじいちゃん・おばあちゃん」「ぼくのゆめ・わたしのゆめ」「まちで出会ったかわいい笑顔」がスタート。
- 16年8月 15日号が「お知らせ版」に変更。
- 17年10月 広報やまだ合併50周年記念号を発行。
- 20年4月 「キッチンスタジオハーモニー」がスタート。
- 23年3月 震災特別号を6号を発行。
- 23年9月 広報やまだ9月1日号震災特集号で通常版の発行を再開。
- 24年5月 広報やまだ創刊1000号を発行。
- 令和2年9月 広報やまだ創刊1200号を発行。



広報やまだ 創刊1200号

親しまれる情報紙を目指して

広報やまだは今号で1200号を迎えました。昭和30年5月20日に創刊されてから65年。皆さんの温かいご理解と協力に支えられながら、町民の皆さんと行政をつなぐパイプ役として、町の動きや話題、情報などを伝えてきました。

広報は、町の動きや身近な出来事などを町民の皆さんに正確に伝える役割と町民の皆さんが持っている意見や要望をくみ取る広聴の役割があります。また、

時代の様子を後世に伝えるため、町の歴史を記録し保存することも大切な役割です。

広報紙はこのような役割を担っていますが、話題豊富な紙面を構成するためには、皆さんからの情報が必要になります。広報の主役は町民の皆さん一人一人です。紙面の許す限りご紹介したいと思しますので、「わたしたちの地区(団体)では、こ

んな活動をしています」「○○に一生懸命取り組んでいる方がいます」「珍しい物を見つけました」など、お気軽に情報をお寄せください。

広報やまだは、より親しまれる情報紙を目指し、町の歩みを記録し続けていきます。

▽情報提供先・問い合わせ
総務課情報係(☎82-3111
1内線416)へどうぞ。

広報やまだへ一言



内館 洋一 さん
(飯岡・77歳)

いろいろな情報を知ることができ便利になっています。

投稿した俳句などが広報やまだに掲載されるとうれしくなり元気をもらいます。毎月楽しく待っています。



左から
西村 宗祐 くん(山田小・6年)
篠澤 煌真 くん(山田小・6年)
横田 子騎 くん(山田小・6年)

一番最初に「1歳になりました」を見てます。「町のわだい」を読むのも楽しみにしています。今後は、クイズなど楽しい企画をしてほしいです。